

EBPM の推進を担う人材の育成の在り方

有識者取りまとめ

- 論点1については、EBPM の理解について、「レビューシートは説明責任を果たすための作文」という誤解が生じており、政策立案の質を高め、そのプロセスを言語化するという正しい理解を広めることが必要。また、EBPM 実践のための能力向上について、社会課題の複雑さや困難さの度合いが増し、解決が難しくなっている現状を踏まえ、必要に応じて外部有識者を取り入れるなど、より柔軟な体制整備を各府省庁において工夫し、行革事務局も支援すべき。
- 論点2については、若手職員が主体的に関与することが非常に重要で、それが結果的にモチベーション及び能力の向上につながると思う。各府省庁において、各幹部のリーダーシップのもと、社会課題を解決するために、誰と協力すればよいのか、誰の知恵を借りればよいのかについての、若手職員のためのポジティブで、心理的安全性が確保された学びの場や環境を整えるべき。
- 論点3については、事業所管部局は、現行の政策ありきではなく、政策の見直しを通じて人が育つことを改めて認識し、EBPM の推進に率先して取り組むためのマネジメントを行うべき。EBPM 推進部局は、EBPM 推進が組織力向上に資するという自覚のもと、府省庁における重要な部署、いわば司令塔であると位置付け、会計部局等との連携強化や適切な人材配置等を考えていくべき。政府全体でのEBPM

推進を担う行革事務局は、こうした体制ができている府省庁を積極的に評価し、共通機能としてのデータベースの充実や政府内での喫緊に必要な EBPM に関する取組についてのワークショップの開催などの伴走支援を更に実施していくべき。

- なお、行革事務局における今後の取組方針策定に資するよう、本日の議論を整理した詳細な「EBPM の推進を担う人材の育成の在り方の方向性」といった文書を別途事務局に提出し、事務局より後ほど公表する。